

車両/整備情報管理システム TruckCare導入事例

システムの独自カスタマイズによる使い易さ、
車両管理業務の負荷を分散できた

○会社概要

本社所在地 京都府京都市南区上鳥羽北花名町1-1
 創立年月日 平成16年5月12日
 従業員数 509名
 保有台数 300台以上
 営業所 7か所
 事業内容 一般貸切旅客自動車運送事業、
 運行管理請負事業、役員車ドライバー、
 一般乗合旅客自動車運送事業、
 特定旅客自動車運送事業
 ホームページ <https://www.mk-bus.com>

■ お客様のニーズ

【お客さまの課題】

- ・車両の整備点検および部品交換などの車両管理者の負担軽減、
ヒューマンエラーを減らしたい。
- ・複数拠点の車両情報を一元管理するためにシステム導入を検討していた。

【システムへの要望】

- ・ヒューマンエラーを減らす仕組みが欲しい
- ・システムをカスタマイズして運用に必要な機能を追加したい
- ・点検整備記録から「貸切バス予防整備ガイドライン 整備実施記録簿参考様式」や、
ユーザ毎の「点検・修理にかかった費用」を自動発行したい

■ 導入効果

カスタマイズすることで、運用に即したシステムとなり、
今後、ヒューマンエラーが無くなることによるコスト削減効果が見込まれる。
また、拠点毎に車両の整備点検情報を登録することで、車両管理業務の
担当者への負荷を軽減することができるようになった。



※車検証などの紙媒体も
電子化して登録



クラウド上での車両整備情報の共有



本社



A事業所



B事業所



部品(オイル)交換、定期点検や
車検時期をカレンダーで管理